

心と身体に栄養を! 歌声喫茶



歌声喫茶予定表

- 参加費 **800円**
(お茶付き)
- 8月4日(月)
 - 9月1日(月)
 - 10月6日(月)
 - 11月3日(月)
 - 12月1日(月)

毎月**第1月曜日** 10:00~12:00
(途中休憩約20分)

アコーディオン奏者
三好創先生の演奏で
一緒に歌いましょう

三好先生オリジナル歌本

1冊 1,000円
(税込)

歌本の貸し出しは、衛生面を考慮し現在しておりません。歌本をお持ちの方は、必ずお持ち下さい。
お持ちでない方はお買い求めください。

場所 のぞみホーム
(みんなのハウス)
〒321-0216 栃木県壬生町壬生丁 145-10
☎0282-82-7204

のぞみホームより 研修会のお知らせ

研修案内

のぞみホームでは、様々な研修を実施しております。興味のある方は、どなたでも参加できます!! お気軽にお越し下さい。お待ちしております。

第1回	令和7年 7月25日(金)	感染症予防について
第2回	令和7年 9月26日(金)	身体拘束廃止と虐待防止について
第3回	令和7年 11月28日(金)	セーフティマネジメント(事故防止)について
第4回	令和8年 2月28日(金)	災害対策とBCPの活用について



場所 みんなのハウスにて
時間 17:00 ~ 18:00
(1時間程度)
講師 ソーシャルサポート明日向

**お問い合わせは
のぞみホームまで**

全スタッフが介護福祉に対する共通認識をもつことで、お年寄りが暮らしやすいのぞみホームを目指します。

だじょぶにゃん通信

発行 特定非営利活動法人のぞみ会
六美南部地区の地域福祉を考える会
〒321-0216
栃木県壬生町壬生丁 145-10
TEL 0282-82-7204
FAX 0282-82-7254

発行人 渡辺 みゆき
編集 だじょぶにゃん通信 編集部奥山 久美子
協力 六美南部地区自治会
のぞみホームを応援する会
URL <http://www.nozomi-h.org>
MAIL nozomi-h@guitar.ocn.ne.jp

編集後記

「暑い、暑い、暑い、暑い…」と6月ころから言っているような気がしますが、みんなのハウスのつくばいで鳥が水浴びしたり、ガビチョウの鳴く声を聞いていると、暑さに負けずつくばいをきれいにしてやらねば…と思うのでした。
ハウスでは、ギターの練習もしているので、興味のある方はお問い合わせください。 奥山

だじょぶにゃん通信

Vol.11 2025年7月発行 のぞみホームは1993年7月1日にこの地に生まれ32歳になりました!

「私が壊れる瞬間(とき)アルツハイマー病患者の手記」という本をご存じでしょうか。

1993年、まさにのぞみホームができた32年前に出版された本です。
50歳代で若年性認知症と診断され、ある日いつもできていたことができなくなる。どんどん自分が自分ではなくなっていってしまう。そんな実体験を記した手記です。

そして私の93歳の母親が今その真ただ中にいます。88歳になったころから何となく言動が怪しくなり、90歳になったころには重度のアルツハイマーと診断されました。

現在は要介護2の認定を受け、週1で自宅の近所のデイサービスに通い月に1度は在宅診療の往診を受けています。

そんな母親が毎日のように言うのが「何にもできなくなっちゃった。人生終わりだ。」デイサービスから帰ってきた日には「世話になるばかりだ、わけがわかんなくなっちゃった。もう行かないほうがいいかな。」です。連絡帳には毎回楽しく過ごしていると書かれているのに、楽しかったことは忘れてダメな自分だけが頭に残ってしまうのでしょうか。

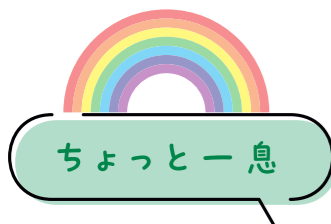
この「私が壊れる瞬間」の手記にあるように自分が自分でなくなっていってしまう…。



本人にしかわからない苦悩や恐怖を想像するしかありませんがヨロヨロしながらもトイレに行けて、ご飯の炊き方が固いのなんの言いながらも自分でご飯が食べられる。それだけでも十分です。たとえそれができなくなってもその存在だけで私たちは教えられることがたくさんあるように思います。

のぞみホームを始める前に福祉の先進国デンマークに研修にいきました。デンマークの障がい者の人たちはもっと胸を張って介護を受けて暮らしていたように思います。

「私は障がい者だ、そんな私がきちんと人間らしく私らしく暮らせるように支援しなさい。」障害のある人や認知症の人が胸を張って自分らしく暮らせる。そんな日本になってほしい。のぞみホームは「認知症になっても障がいがあってもその人らしく最期まで。」を理念に32年が経ちました。



のぞみホームの小さな畑の話



のぞみホームの敷地を奥に進むと小さな畑が出てきます。

この物価高に苦しめられる日々を少しでも乗り切ろうと春は再生野菜に取り組みました。

野菜が高いと言えば豆苗です。

98円で買ってきた豆苗を伸びては食べ、伸びては食べを繰り返すこと2回。最後は豆苗の根っこを畑に植え付け、無事に伸びてきた蔓に大喜び。暑さに負けず大急ぎでネットを張り、花が咲いたよとまたまた喜び。絹さやが収穫できホームの食材になって出てきた時には、豆苗すごいぞと思ったのです。

また来年頑張ります。

のぞみホームを応援する会

ペットボルの報奨金寄付金のご報告

のぞみホームに新しいパソコンが設置されました。

のぞみホームでは数か月前からパソコンに振り回される日々が続いておりました。電源を入れてから起動するまでに数十分。メールを確認するのに数十分。ネットを開くのにも数十分。まだかまだかとイライラするばかり。待っていられず洗濯物を干しに行ったらパソコンの前に戻り、コメを研いではパソコンの前に戻り。もうあちこち行ったり来たりです。いつかデータが消えてしまうのではないかと恐怖におののきながら仕事をする事数か月。このままではダメだと専門家の手を借り何とかならないものかと思いましたが結局どうにもならず、買い替える事になりました。今回のパソコンの購入費用は前年度の「のぞみホームを応援する会からいただいたペットボルの報奨金の18万円を当てさせていただきます。

春にはみんなで18万本も集めたんだねー。としみじみしましたが、今は暑さとの戦いです。毎週金曜日の8時30分。ご協力くださる方はご一報ください。よろしくお願いいたします。



小学生ふれあい体験

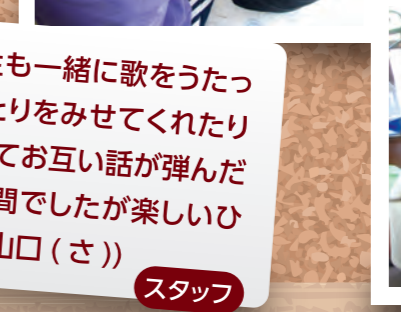
壬生東小学校の2年生11名がのぞみホームに来てくれました



難しい折り紙も上手にできている子もいてびっくりしました。みんな積極的にお年寄りと接していて感動しました。(塩谷) スタッフ



とても素敵なひと時でした。歌ったり折り紙をしたりとお年寄りも大変嬉しそうにされていました。子供達と触れ合うことで刺激にもなり、私達もよい時間を持つことができました。(坂入) スタッフ



最初はぎこちなかった小学生も一緒に歌をうたったり折り紙を折ったり、あやとりをみせてくれたりだんだん距離がちかづいてきてお互い話が弾んだり笑顔が見えたりして短い時間でしたが楽しいひとときになったと思います。(山口(さ)) スタッフ

